

火 薬 類 消 費 計 画 書

1 消費の方法

(1) 発破(採掘)物件の容量

立方メートル

(2) 火薬類の算定

使用火薬類 必要数量	爆 薬	火 薬	工業雷管	電気雷管	導 火 線	コンクリート 破砕器		
1立方メートル 当たり	kg	kg	個	個	m	個		
立方メートル								
立方メートル								
計								

(3) 作業の内容

消費方法	使用火薬類		火薬・コンクリート破砕器		爆 薬			
	小	割	地	山	小	割	地	山
1日の最多発破回数		回		回		回		回
1孔の穿孔長	最長	m		m		m		m
	最短	m		m		m		m
1孔の装薬量	最大	kg(個)		kg(個)		kg		kg
	最少	kg(個)		kg(個)		kg		kg
1回の最多斉発数(電気発破)		発		発		発		発
1回の最多連続発破数(導火線発破)		発		発		発		発
1回の最大発破装薬量		kg(個)		kg(個)		kg		kg

(4) 火薬類の消費見込量

ア 1日の消費見込量(火薬類取扱所に存置する火薬類の数量)

種 類	爆 薬	火 薬	工業雷管	電気雷管			
数 量	kg	kg	個	個			

イ 1月の消費見込量(火薬+爆薬) 25キログラム(未満、以上)

2 火工所及び火薬類取扱所

(1) 火工所の構造は ア 建物(木造、コンクリートブロック造、鉄製)

イ テント

(2) 火薬類取扱所は ア 設置する(ア) (木造、コンクリートブロック造、鉄製)

(イ) (見張人を配置する、見張人を配置しない)

イ 設置しない

3 他法令に関する許認可を ア 必要とする

イ 必要としない

注 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。